令和７年10月５日執行　鶴岡市議会議員選挙

選　挙　公　報

変わる　変える

おかざき 克己 かつみ

1. 子ども たちの笑顔を守る。
環境・教育機会など、子どもの格差を埋める支援と仕組みを作る。

2. 地域 経済 の活性化を目指す。
地元企業・商店の魅力を高める。空き店舗を活用した創業支援。

3. 生きがいを感じられる コミュニティ を創る。
人との繋がりで、趣味や居場所を見つける機会を。（コミュカフェ等）

○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○

岡崎 克己　おかざき かつみ　昭42年 9月18日 生まれ　兄はハナビストの冴木一馬

鶴岡第三中学校	鶴岡幼稚園PTA会長・評議員	赤川花火大会副実行委員長
鶴岡西高等学校	朝暘第二小学校PTA会長	山王通り商店街振興組合理事
神奈川大学 卒業	鶴岡第三中学校PTA会長	山王まちづくり株式会社取締役
ファッションの森 おかざき 入社	鶴岡市PTA連合会会長	第二学区コミュニティ振興会常任理事
	鶴岡青年会議所副理事長	鶴岡市民憲章推進協議会常任委員

人口減少社会と真っ向勝負！

鶴岡には世界に誇る資産がある！
×文化資産　×先端技術資産
この２つの超強力な資産の二度掛けで
人口減少社会を突破する！

希望をつくる政策

- #観光 食文化の希望の炎をもう一度！
- #産業 農林漁業を新たな中核産業に！
- #観光 本物体験をデジタル化と旅の足で最大化！

安心を支える政策

- #仕事 鶴岡の資産を私たちの仕事に、マチの魅力に。
- #子育て 鶴岡らしさあり、地域格差なし、の子育てを。
- #疎空間 郊外の暮らしと文化を守る、小さな拠点を再整備

▶プロフィール
昭和54年2月27日 4,980gで誕生
鶴岡市旧温海町鼠ヶ関生まれ
平9 山形県立鶴岡南高校 卒業 応援団長
平13 成城大学 経済学部 卒業
平27 NPO法人自然体験温海ｺｰﾃﾞｨﾈｯﾄ(現職)
令６ 山形大学農学部非常勤講師

詳細はHP↓

とがし しげとも

経験と若さ46歳

matsuta **松田博美** hiromi

人が集い、経済が潤うまちづくり
（商店街を中心としたまち全体の経済の活性化）

文化と芸術が息づくまちづくり
（城下町鶴岡が育む文化を誇れるまちに）

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり
（多様な人が生き方をお互いに尊重し安心して暮らせるまち）

松田ひろみ

まちが動けば、鶴岡が変わる。

プロフィール

1970 年　山形県鶴岡市生まれ	○鶴岡青年会議所シニア
1989 年　山形県立鶴岡南高等学校普通科卒業	○鶴岡商工会議所青年部 OG
1991 年　私立上智短期大学英語科卒業	○鶴岡法人会　女性部会在籍
1991 年　日本テキサス・インスツルメンツ株式会社入社（営業アシスタント、営業、マーケティング職を経験）	○鶴岡南ロータリークラブ在籍
2006 年　同社退職、株式会社トキワ屋入社	○鶴岡銀座商店街振興組合　監事

○趣味　茶道・水彩画

@HIROMIMATSUTA　facebook

子どもたちに豊かな学びとゆとりある教育環境を

～21世紀型のひとづくり・まちづくりを～

1	2	3	4
少子化・人口減少を見据えた学区の見直しを提言	新しい給食センター、新図書館の整備に市民や現場の声を届ける	市の財政力向上に向けて「稼ぐ自治体」の実現のための政策提案	憲法・平和・人権・ジェンダー平等など、市民の願いを国や県に届ける

これから
- 豊かな学びとゆとりある教育環境実現に向けて、教育行政の情報公開・監視、政策提言
- 対話と協働、デジタルを利活用する「21世紀型」の人づくり、まちづくりの提言

応援しています!!

参議院議員	舟山 やすえ
参議院議員	芳賀 道也
加茂水族館名誉館長	村上 龍男
山王まちづくり代表取締役	三浦 新
山形県教職員組合執行委員長	遠藤 学

推薦団体

山形県教職員組合
山形県高等学校障がい児学校教職員組合
山形県退職者教職員連絡協議会
山形県退職女性教職員出羽路会
情報労連山形県協議会
連合山形
山形県平和センター
全水道鶴岡

2025 Nanba

プロフィール

【学歴】
三小/二中/西高/駒澤大学文学部地理学科卒業
1988年　オハイオ州立トレド大学にて短期研修修了
2018年　筑波大学大学院教育研究科修了（修士：教育学）

【職歴】
1983年　神奈川県桐光学園中学・高等学校教諭
1984年　山形県公立中学校社会科教諭として採用
勤務校　温海町立福栄中学校・鶴岡市立鶴岡第二中学校
三川町立三川中学校・朝日村立朝日中学校
藤島町立藤島中学校・鶴岡市立鶴岡第二中学校
2020年　鶴岡市立鶴岡第一中学校退職
2020年　（一社）DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー 観光案内スタッフ
2021年　鶴岡市議選初当選

ブログ「かわらばん 南波純のおたより」

なんば純

鶴岡市上畑町在住（64歳）

変化を追う政治から、変化の先を走れる市政へ

①子どもの食と健康を守る
無添加・オーガニック給食を月の半分程度導入し、安心して食べられる環境を。
持続可能な社会は、子どもたちの健康から。

②命と食の学びを広げる
「生きることは食べること」をテーマに
中学校で屠殺場見学などを通して、命の大切さを学ぶ授業を導入。

③地域と環境を持続可能に
利権優先の開発断固拒否。自然を守り、地域経済を支える施策を。
メガソーラーを置かせない。人命・暮らしを優先する市政へ。

④議員報酬10%カット
年間最低1,500万円確保。
任期中に計6,000万円を確保し、子育て支援・インフラ整備に投資。

こんな鶴岡を目指します！！

この30年、日本経済は停滞し地方は疲弊してきました。各地で利権優先の開発や、移民拡大に伴う問題が指摘されています。もしこれまでと同じように自民系議員を議会へ送り続ければ、鶴岡市もやがて・・・可能性は有ると思います。「知り合いだから」「周りにお願いされたから」といった安易な理由で未来を左右する選択をせず、一歩立ち止まり、子どもや孫世代に恥じない選択、誇れる選択をして、鶴岡の未来を自分たちの手で作っていきましょう。

阿部翔馬 あべしょうま

世代交代の先頭に立ちます！

新人32歳

中沢みゆき なかざわ

ともに未来をつくる！
鶴岡市の人口は、2025年現在約11万5,000人、2030年には約10万5,000人、2040年には約89,000人になると推計されています（社人研）。
人口減少が確実に進む中で私たちに必要なことは、お互いに知恵を出し合い、協力し合いながら、より良いまちの未来を築いていくこと。まちづくりは、市長や議員といった行政だけに委ねられるものではなく、市民一人ひとりが主体となって進めていくものです。ともに、希望のもてる未来をつくっていきましょう!

市民のための政治
私は4年前、「議会に新風を!」をスローガンに掲げ立候補しました。唯一の30代女性という立場だからこそ感じる違和感を大切に、市政のことはもちろん、議会の中のことについても疑問を投げかけてきました。私の目指す市議会は、「市民の代表として選ばれた議員が党派を超え、より良いまちをつくるために議論する場」とすること。市民の代表として選ばれた議員一人ひとりが様々な視点から意見を出し合い、一緒になって日本で一番「このまちに住んでいてよかった」「このまちに住みたい」と感じられる鶴岡／庄内をつくっていきます。

未来は創るものであり、目指すもの

「気候危機」に対応した住み続けられるまちづくり
- 防災・減災、避難対策の強化
- 老朽化した道路や公共施設の整備
- 省エネルギーの促進、再生可能エネルギーの拡大
- 生物多様性、森林、海洋等の保全

いのちを育むまちづくり
- 妊娠・出産・子育て費の負担軽減
- 安全で豊かな食と農の支援
- 予防医療の強化、健康寿命の延伸
- 孤立を防ぐ居場所づくりの整備

すべての人が暮らしやすく働きやすいまちづくり
- 公共交通の維持・改善
- 多様な働き方の支援
- 地域医療・福祉の充実
- 公園や公共空間の整備

循環型のまちづくり
- 食とエネルギーの地産地消
- 一次産業の持続可能化と六次産業化の推進
- 地域内循環型フードシステムの構築
- ごみを資源にする仕組みづくり

【プロフィール】
学歴：朝暘第五小学校、鶴岡第二中学校、鶴岡北高等学校、恵泉女学園大学人文学部
職歴：英語科常勤講師として県立高校勤務（鶴岡北→酒田東→鶴岡南山添校）
趣味：ジグソーパズル
特技：整理整頓、草刈り

この選挙公報は、鶴岡市選挙公報発行に関する条例に基づき、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

鶴岡市選挙管理委員会